



学校だより

6月号 令和6年5月31日発行
江戸川区立下小岩小学校
校長 鶴田 麗子

下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>

たくさんの愛情に支えられて

校長 鶴田 麗子

運動会の日朝、地域の方が来校されました。「昔、下小岩小のボランティアをしていました。孫たちもお世話になりました。今日は応援に来られないので、ティッシュを持ってきました。」とのこと。「ティッシュは縁起がいいのよ。よい運動会になるといいですね。」と柔らかな笑顔で帰って行かれました。受け取った紙袋の中には、ポケットティッシュが綺麗に並んでいます。ティッシュを一つ取り出すと、折り紙で丁寧に作った猫の小袋も添えられていました。同封の一筆箋には「今日は先生方に一つずつ心をこめてティッシュを用意しました。ティッシュ=拭く紙=福の神 という言葉もあるようなので」と記されていました。思いがけない出来事に、心が明るくなりました。



その後、校舎内を周ると、教室の黒板には担任からの応援メッセージが。子ども達との絆を感じ、ますます嬉しくなりました。

そんななか始まった運動会。今年最高の暑さのなか、それにも勝る下小岩の子ども達の熱い競技や演技が繰り広げられました。多くの保護者の皆様と共に、日頃からお世話になっている地域の方々や、子ども達に関わりのあった先生方など40名を超えるご来賓の皆様が、下小岩の子のために、時間をつくり応援に駆けつけてくださいました。有難いことです。

また、受付や会場整理を快くお手伝いくださったPTAの方々、十分でない会場や運営方法について、様々ご意見もあるなか、学校の方針に理解を示し、安全で円滑な運営にご協力くださった保護者の皆様には、感謝しかありません。

早朝の訪問に始まり、運動会当日、学校中に子ども達への温かな愛情が満ち溢れていたように感じました。お陰様で、皆様にご覧いただけたように、子ども達は練習の成果を精一杯発揮し、笑顔を輝かせることができました。

カン=テグジュペリの小説『星の王子さま』に「大切なことは目に見えない」との有名な言葉があります。家族や友達、誰かを大切に思う気持ちや愛情は、目には見えなくても確かにそこにあります。惜しみなく注がれた愛情に気づき、感謝できる子になってほしいものです。

6月は「ふれあい月間」です。東京都の取り組みで年間2回設定されています。いじめのない安全・安心な学校は、一人一人の相手を大切に思う気持ちがつくり出すことを、子ども達に伝えていきます。

